ごあいさつ

皆様には、平素より東和銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

本年も、当行に対するご理解を一層深めていただくために、ディスクロージャー誌「東和銀行レポート平成29年3月期」を作成いたしました。本誌では、平成28年度の業績を中心として、できるだけ詳しく紹介させていただいておりますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

平成28年度のわが国経済は、海外経済の成長率が緩やかに高まるもとで、輸出が増加基調となり、生産が回復傾向を辿りました。また、設備投資の回復・個人消費の底堅い推移から、景気は緩やかな拡大に向いました。

このような経済状況のもと当行は、平成27年4月から平成30年3月までの3年間を計画期間とする経営強化計画「プランフェニックスⅣ」に基づき、「靴底を減らす活動」「雨でも傘をさし続ける銀行」「謙虚さのDNAを忘れない銀行」の3つをモットーとして、お客様の本業支援と経営改善支援に全役職員が全力で取り組んでまいりました。

お客様の本業支援では、販路拡大や商品の紹介等のビジネスマッチングや群馬大学や前橋工科大学との共同研究支援、関東経済産業局・中小企業基盤整備機構などと連携した「ものづくり補助金」など各種補助金申請アシスト、大手企業との技術連携紹介、大手工業系・大手食品系バイヤーとの個別商談会、大手企業を退職した専門知識のある人材をお客様に紹介する「新現役交流会」の開催など、お客様の売上増加や経営課題の解決に繋がる提案活動に取り組んでまいりました。

地元大学では、群馬大学、高崎経済大学、放送大学において、当行の役職員が専門的な金融経済知識に限らず地域密着型金融への取組みや融資の審査業務など地域金融機関としての役割を、正式な単位を持つ講座として開講しております。

また、お客様のビジネスチャンスを広げるために、筑波銀行、栃木銀行との共同商談会や「産官学金連携　川上・川下マッチング事業」による大手企業とのビジネスマッチングを積極的に開催してまいりました。

「東和農林漁業6次産業化応援ファンド」を活用した成長産業化支援では、農林業を営む事業者への6次産業化への提案や、パートナーとなる2次・3次産業事業者の紹介などにより、当該事業者の新たな事業機会の創出・付加価値の創造を支援し、国内外への販路拡大等、お客様の成長戦略を支援する取組みを実施し、第1号投資案件への出資が決定しております。

海外進出支援では、58か国37機関との海外ネットワークを活用した外部機関との連携を強化・拡充して積極的にサポートするとともに、お客様に対して国際協力機構（JICA）と連携した支援事業の申請支援や国際協力銀行（JBIC）との協調融資制度などの提案を行ってまいりました。

経営改善支援では、中小企業再生支援協議会、地域経済活性化支援機構など外部専門機関の知見やサポート機能の活用によりコンサルティング機能の発揮に努めるとともに、群馬県信用保証協会や埼玉県信用保証協会と経営改善支援に関する業務の提携を行うなど、適切な事業性評価に基づき、お客様の経営改善に資する資金を積極的に供給する態勢の整備を行ってまいりました。

このようにお客様の本業支援を業務の中心に据え取り組んできた結果、平成29年3月末の預金残高は、前年同期比540億円増加の1兆9,184億円、貸出金残高は、同301億円増加の、1兆3,859億円となりました。また、平成28年度の収益状況につきましては、中小企業向け貸出を中心とした貸出金残高の増加などからコア業務純益は94億円、経常利益104億円、当期純利益83億円を計上することができました。

群馬県と埼玉県の2つの無尽会社を起源としている当行は、「群馬貯蓄無尽株式会社」として大正6年6月11日に創立以来、中小企業のお客様に支援を続ける庶民金融機関として、本年度で100年を迎えることができました。これからも決して上から目線にならず、お客様の本業支援を徹底し、地域の更なる活性化のお役に立てるよう、役職員一丸となって、新たな百年への礎を築いてまいりますので、変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

株式会社　東和銀行
代表取締役頭取

吉永國光